



第19回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。

記

日時：2019年3月5日（火）15:00～18:00

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム (C05)
(グランフロント大阪 タワーC 8階)

地図：<https://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc.html#jump>

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議・公益財団法人 都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 15:00-16:00

「ネットワーク構造から生まれる生命システムの恒常性」

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 教授 望月 敦史

生物の細胞内で働く多数の化学反応は、反応物と生成物を共有することでつながり、複雑なネットワークを作っています。このシステムのダイナミクスから細胞の生理機能が生まれるのだ、と考えられています。しかし、現在の生命科学でネットワークについての知見が増大する一方で、そのダイナミクスについては十分に理解されてきませんでした。これに対し私たちは、ネットワークの情報だけからダイナミクスの重要な側面を決定する新しい数理理論を開発し、それらを用いて実際の生命システムの動作原理を解明する研究を続けています。本講演では、具体的な生命現象に対する最新の成果も交えて解説し、数理科学と相互作用しながら発展する新しい生命科学を紹介します。

講演Ⅱ 16:00-17:00

「活性型インテグリン $\beta 7$ を標的とした多発性骨髄腫に対する新規CAR T細胞療法の開発」

大阪大学大学院 医学系研究科 癌幹細胞制御学 准教授 保仙 直毅

がん特異的抗体の抗原認識部位とCD28などの共刺激分子およびCD3 ζ との融合体であるCARを発現するCAR T細胞は、がん特異的抗原を認識して活性化し、がん細胞を傷害する。我々は最近、活性型インテグリン $\beta 7$ が恒常的に骨髄腫細胞およびCD19陽性骨髄腫前駆細胞に高発現していることを見出し、それを標的としたCAR T細胞を開発中である。本講演では、我々がそのようなシーズの発見に至った基礎的研究の紹介とともに、それを実用化するための取り組みについても紹介したいと思います。

17:00-18:00 交流会・名刺交換会

【次回のご案内】

<第20回>

日時： 2019年6月25日（火） 15:00~18:00

場所： ナレッジキャピタル カンファレンスルーム（C05）
（グランフロント大阪 タワーC 8階）

地図： <https://kc-space.jp/accessmap/conference/towerc.html#jump>

<プログラム>

15:00~16:00

「ライフサイエンス・オープンイノベーションに対する私感」

大阪大学サイバーメディアセンター 招聘教授 坂田 恒昭

16:00~17:00

「腸管恒常性維持機構の解析—炎症腸疾患の病態解明に向けて—」

大阪大学大学院 医学系研究科 教授 竹田 潔

17:00~18:00

交流会・名刺交換会

問合先：

NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（梅村、松村、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所 電話：06-6359-1322（味村）